

平成25年 第2回(6月)定例会

一般会計補正予算41,255千円を可決

補正予算の主なものは、下記のとおり!!

マイクロバス購入費 9,900千円

財団法人自治総合センターのコミュニティー助成事業の交付決定に伴う、29人乗りのバス購入費
(写真は参考)



保育士等处遇改善 臨時特例事業補助金 9,466千円

町内の5つの私立保育所へ補助金を交付し、保育士の処遇改善を図ることにより、保育士を確保するための補助金



あすばる大崎木質 ボイラー設置工事 13,000千円

燃料(重油)費の経費節減対策のために、新たに木材を燃料とする木質ボイラーを設置し、昨今の燃料高騰に対応するための設置工事



【条例等の主なもの】

- 小型動力ポンプ付積載車の購入契約の締結について
購入理由 持留分団、横内班へ配備(老朽化のため)
契約金額 966万円
契約の相手 (株)鹿児島消防防災
- 中山間ふるさと・水と土保全基金条例の一部改正
変更前 10,139,103円
変更後 10,143,203円
- 人材育成基金条例の一部改正
変更前 38,685,296円
変更後 38,704,134円
- 肉用牛特別導入事業基金条例の一部改正
変更前 16,553,601円
変更後 16,555,266円
- 大崎町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定
職員の給与を減額する改正
減額期間 平成25年7月1日
26年3月31日
減額率 3.6パーセント

人権擁護委員 再任



大崎町井保
2041番地
稲葉正和氏

陳情1件を採択

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2014年度政府予算に関する意見書採択の要請について

陳情者 大崎町持留389番地1
上野重夫氏

意見書を可決

※次の意見書を、関係各大臣に送付しました。

- 1 離島の多い鹿児島県において教育の機会均等を保障するため、国の定数基準を改め、複式学級の解消に向けて適切な措置を講ずること。
- 2 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。